



# T-Roc

## クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください



# T-Roc に関する資料

## 本書



## クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。

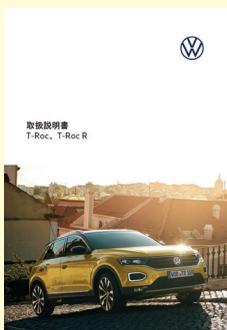
ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。

モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

本書内に記載されている一部の機能は、動画で機能の説明を確認することができます。

YouTube の Volkswagen Group Japan 公式チャンネルにアクセスしてご覧ください。

動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



## 取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。

本書と合わせて必ずお読みください。

運転の前に

運 転

便利な機能

# T-Roc

クイックユーザーガイド

# クイックユーザーガイド 目次

## 1. 運転の前に 4

運転準備	4
リモコンキー	4
スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”	5
ステアリングホイールの調整	6
ミラーの調整	7
パワーウィンドー	9
エアバッグ	10
ルームランプ、リーディングランプ	11

## 2. 運転 12

運転する	13
コンビネーションメーター	13
警告灯および表示灯	14
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル	16
エンジンの始動・停止	18
シフト操作	19
Start/Stop システム	21
ライト	22
方向指示器	24
ウインドーワイパー、ウォッシャー	25
燃料の給油	26
AdBlue®	28
ディーゼルパーティキュレートフィルター (DPF)	29

## 3. 便利な機能 30

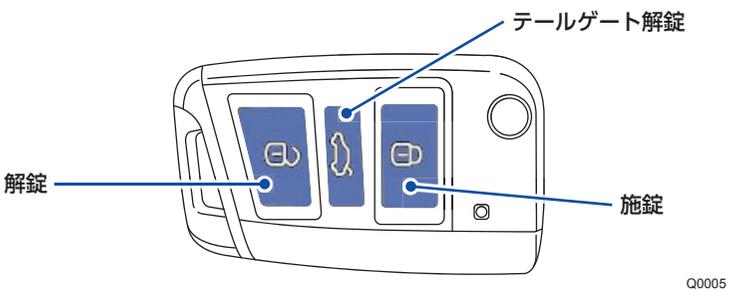
運転支援	30
インフォテイメントシステム	30
ドライビングプロファイル	34
アダプティブクルーズコントロールシステム “ACC”	37
レーンキープアシストシステム “Lane Assist”	41
ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能)	43
リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)	45
プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” (歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付)	47
ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール)	49
プロアクティブ・オキュパント・プロテクション	50
タイヤモニタリングシステム	51
パークディスタンスコントロール	52
リヤビューカメラ “Rear Assist”	54

# 運転の前に

## 運転準備

### リモコンキー

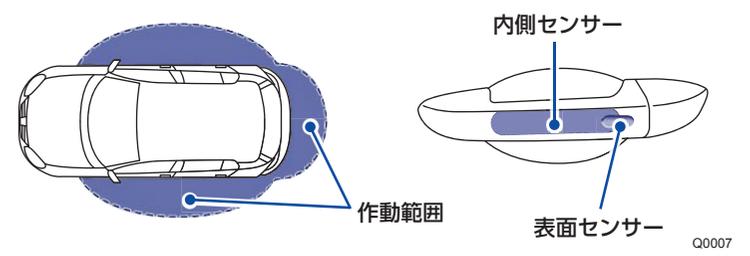
リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 施錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
  - 解錠ボタン…………… すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
  - テールゲート解錠ボタン… テールゲートのみ解錠します。
- 解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

## スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



- 表面センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー…………… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。  
 キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が4回点滅し、ドアを施錠できません。

## ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



MT0001

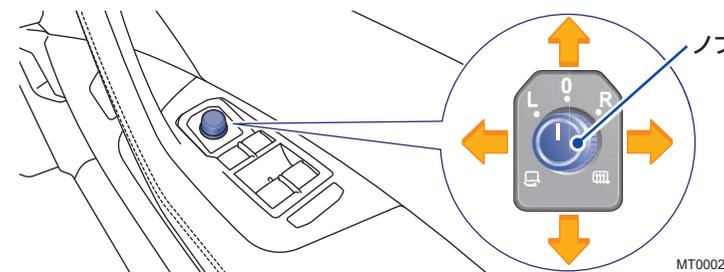
### 操作手順

- 1 レバーを下げます。
- 2 ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
- 3 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

## ミラーの調整

### ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。



MT0002

### 操作手順

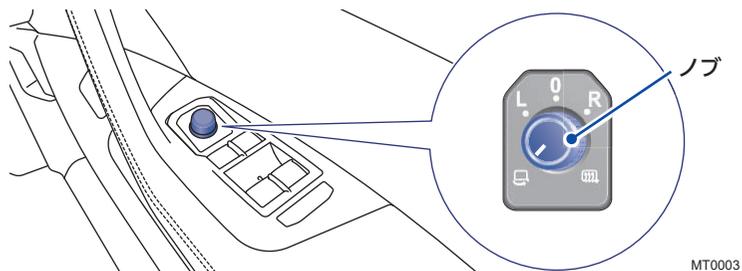
- 1 ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
- 2 ノブを上下、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
- 3 ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

### アドバイス

運転席側を調整すると、助手席側も同時に調整されます。助手席側を調整する場合は、先に運転席側を調整してください。  
この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

## ドアミラーの格納

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。

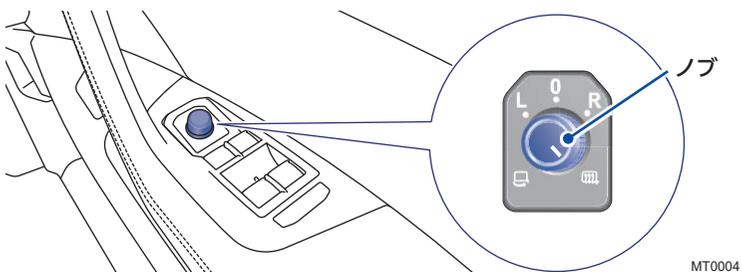


MT0003

車両をリモコンキー、またはスマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

## ドアミラーヒーター

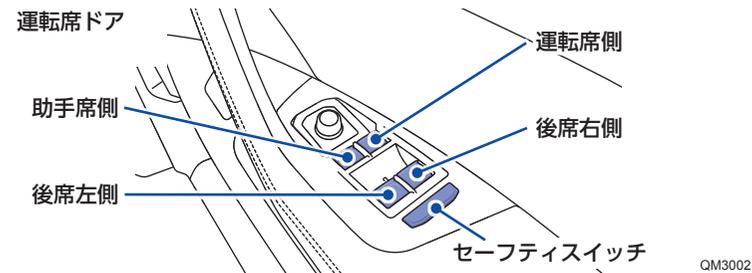
運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを  に合わせると、外気温度が 20℃以下の場合にドアミラーヒーターが作動します。



MT0004

## パワーウィンドー

各ドアにあるパワーウィンドースイッチで、ウィンドーの開閉を操作します。



QM3002

セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウィンドーは作動しなくなります。



### アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

全てのウィンドーが閉まると、方向指示器が 1 回点滅します。

この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

## エアバッグ

運転席側フロント、助手席側フロント、前席サイド、後席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

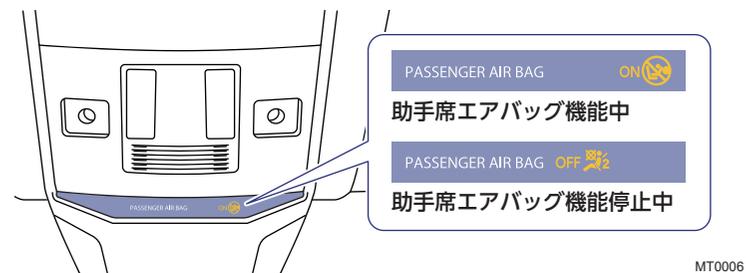
### 助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。

助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。



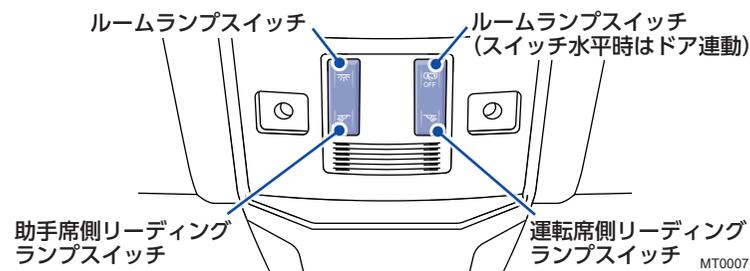
助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、ルーフコンソール部の警告灯が切り替わります。



## ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。

ドアコンタクトスイッチにより、ドアの開閉に連動して自動的に点灯 / 消灯させることができます。

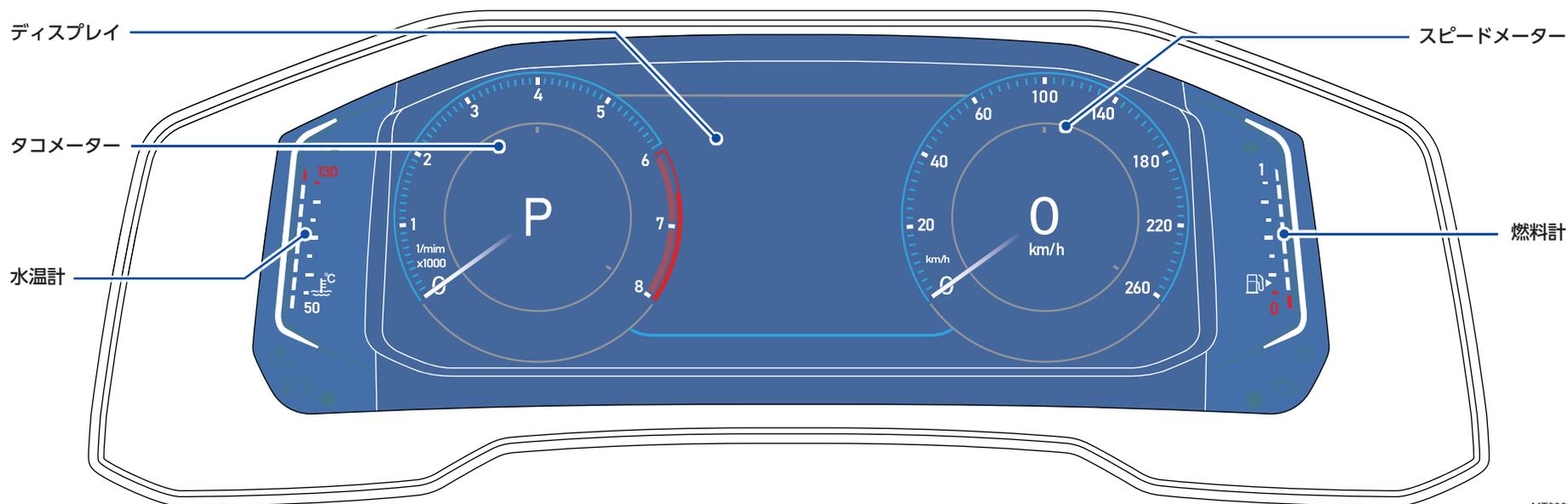


運転席 / 助手席側リーディングランプおよびリヤルームランプは、それぞれ独立して点灯します。

# 運転

## 運転する

### コンビネーションメーター

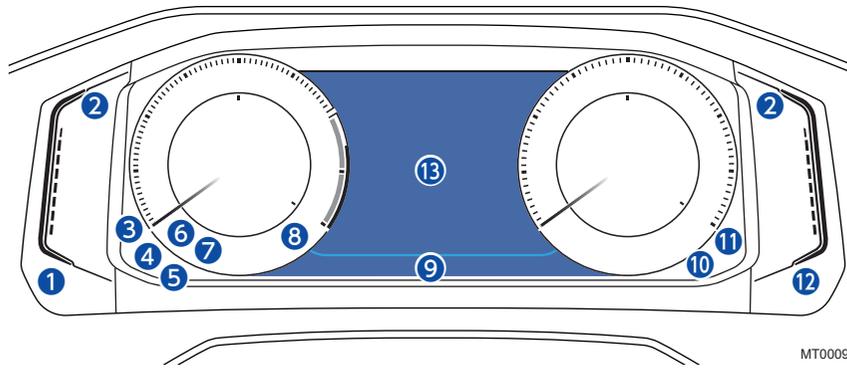


MT0008

### インストルメントパネル表示の切り替え

“Active Info Display” は、クラシックな円形のインストルメントパネル（タコメーターとスピードメーター）に加え、その他のディスプレイも表示させることができます。マルチファンクションステアリングホイールの「VIEW」ボタンを使用して、ディスプレイの表示を切り替えることができます。

## 警告灯および表示灯



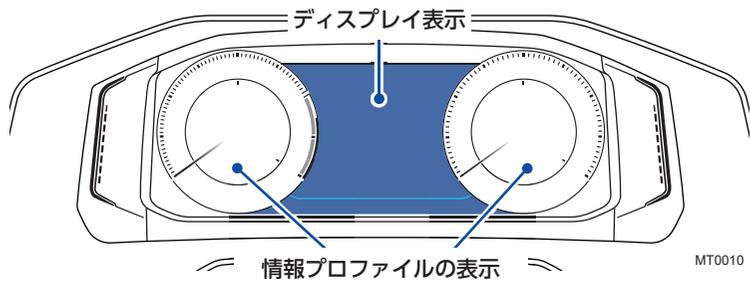
MT0009

位置	シンボル	意味
1		ディスプレイの表示を確認してください
1		ディスプレイの表示を確認してください
2		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
3		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
4		ABS 故障
5		点灯：システムによる ESC OFF 点滅：ESC 作動中
6		ASR OFF
7		ブレーキペダルを踏んでください
7		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクトターレバーのロックボタンを押してください
8		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
8		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
9		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
9		エンジン制御システム故障
9		ハイビーム点灯
9		前席シートベルト非着用
9		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動停止
9		後席シートベルト非着用

位置	シンボル	意味
9		後席シートベルト着用
9		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車未検知
9		白色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非作動
9		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中
9		燃料残量少
9		ブレーキパッド摩耗
9		リヤフォグランプ点灯
10		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
11		ハンドブレーキ作動中
12		エキゾーストシステムの故障
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		ライトのバルブ切れ
13		エンジン回転数制限
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		エンジンオイルシステム故障、エンジンオイル量の過不足
13		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
13		プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		トランスミッション故障 オーバーヒート
13		“Sport Select” シャシーの故障
13		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
13		冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		エンジンオイル油圧低下
13		充電系統故障
13		サービスリマインダー、点検時期
13		外気温度 4℃以下
13		Start/Stop システム エンジン自動停止機能が ON
13		Start/Stop システム システムが作動不可、システムによってエンジンが自動再始動
13		低燃費走行状態
13		取扱説明書を確認してください

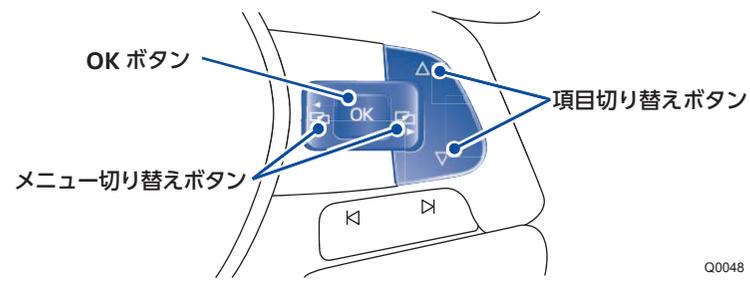
## ディスプレイ表示 / 情報プロフィール

コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。



### マルチファンクションステアリングホイールでの操作

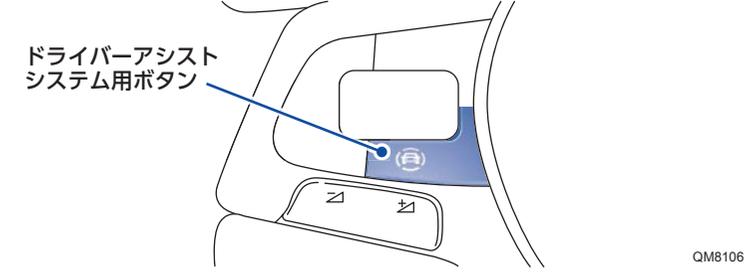
ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



### ドライバーアシストシステム用ボタン

マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンでアシストシステムのメニューを呼び出すことができます。

#### マルチファンクションステアリングホイール



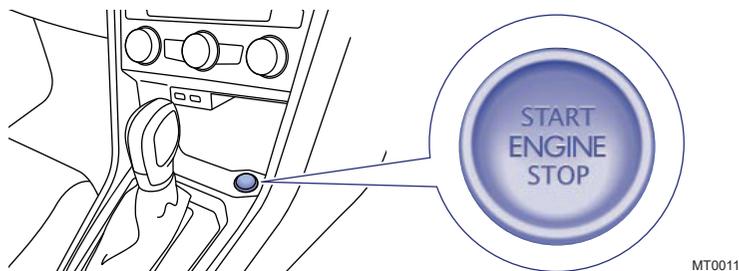
## メニューと表示項目

メニュー	項目
走行データ (マルチファンクションインジケーター)	<b>燃費</b> 平均燃費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 300m 走行後に表示されます。
	<b>概要</b> 各メモリーを表示させることができます。
	<b>走行可能距離</b> 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	<b>AdBlue 走行可能距離</b> 残りの AdBlue で走行可能な距離を表示します。
	<b>警告速度</b> 警告速度の設定をすることができます。
アシストシステム	<b>油温</b> エンジンオイル温度を表示します。
	<b>Trip</b> 前回リセット以降の走行距離を表示します。
ナビゲーション	以下の ON/OFF を切り替えることができます。 ・ Lane Assist (レーンキープアシストシステム) ・ プリクラッシュブレーキシステム (Front Assist) ・ ブラインドスポットディテクション ・ リヤトラフィックアラート
オーディオ	ACC および Lane Assist の作動状態を表示します。
電話	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

## エンジンの始動・停止

### エンジンスタート/ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート/ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。



MT0011

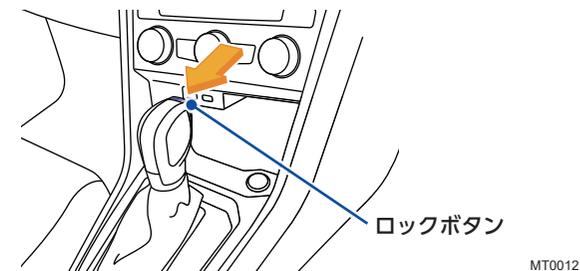
エンジンスタート/ストップボタン

目的	操作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート/ストップボタンを押します。
エンジン停止	エンジンスタート/ストップボタンを押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート/ストップボタンを押します。

## シフト操作

### セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



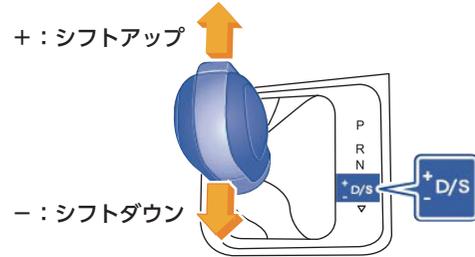
MT0012

“D”と“S”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/S	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム S：スポーツプログラム
▽	“D”と“S”を切り替えるとき
+ -	ティプトロニック（マニュアルモード）

## ティプトロニック（マニュアルモード）

セレクターレバーを“D/S”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“+”（前方に押す）でシフトアップ、“-”（後方に引く）でシフトダウンします。

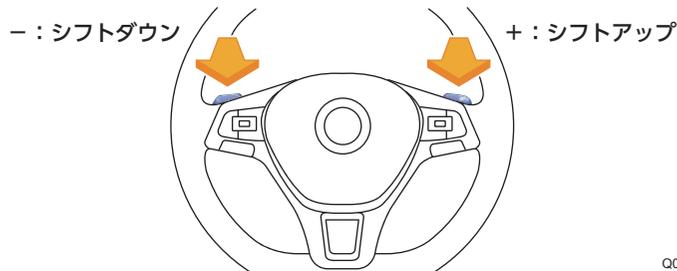


Q0040

オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

## パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。右側のパドルレバー“+”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“-”を手前に引くとシフトダウンします。



Q0041

セレクターレバーが“D/S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“+”を約1秒間、手前に引いてください。

## Start/Stop システム

アイドリングストップ技術により無駄な燃料の消費を抑えるシステム。車両を停止させる際にブレーキペダルを踏みつけると、車両停止直前または停止完了時にエンジンが停止。発進の際はブレーキペダルから足を離せばスムーズに再始動します。エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

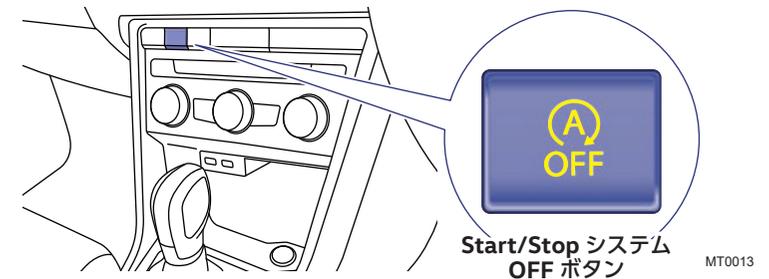
 …… エンジン自動停止中

 …… エンジン作動中、自動停止不可、または自動停止中で自動再始動できない

自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”に戻してから手動でエンジンを始動してください。自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の「スタートアシストシステム」を参照してください。

## Start/Stop システムの機能停止

Start/Stop システムの機能を停止する場合は、センターコンソール上部の Start/Stop システム OFF ボタンを押します。OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。

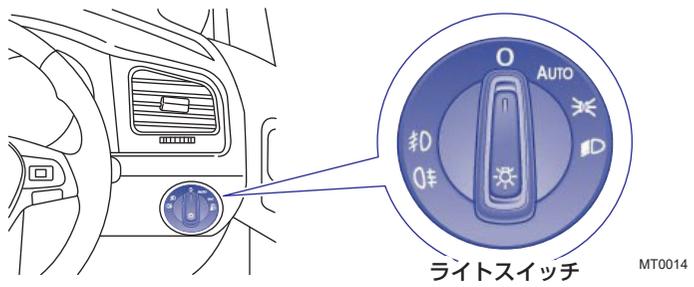


MT0013

## ライト

### ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



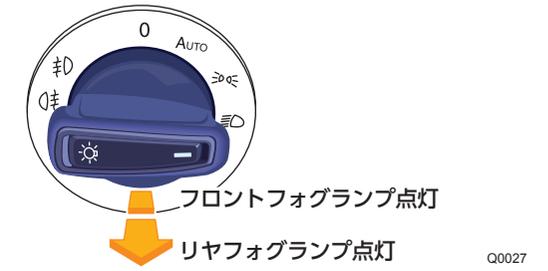
- 0** ……ヘッドライト消灯
- AUTO** ……周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯
- ☾** ……スモールライト点灯
- ☽** ……ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーを前方に押しとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。  
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。（パッシング）



### フォグランプ

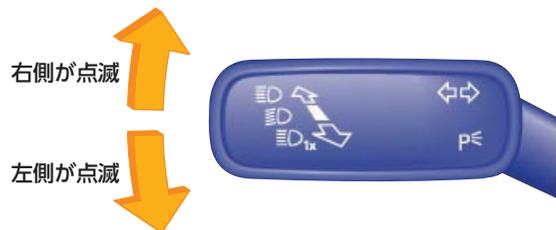
ライトスイッチが AUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプを点灯します。



- 手前に 1 段階目 …… フロントフォグランプ点灯
- 手前に 2 段階目 …… リヤフォグランプ点灯

## 方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



Q0028

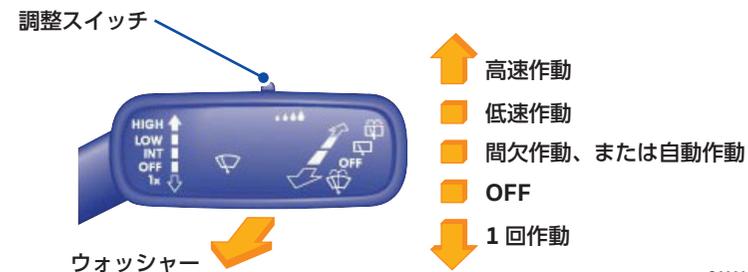
## 車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が3回点滅します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

## ウィンドーワイパー、ウォッシャー

### フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



Q0030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。レインセンサー装備車は、インフォテインメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

### リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。



Q0031

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

### 後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

## 燃料の給油

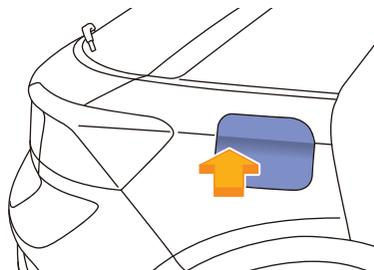
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクトレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

### 操作 手順

- 1 キー、またはセンターロックングスイッチで車両を解錠します。
- 2 フューエルリッドを開きます。

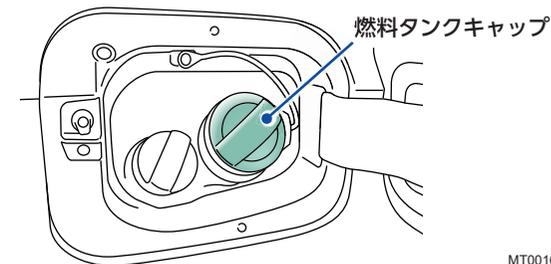
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。  
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



MT0015

- 3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドの開  
口部に挿入します。



MT0016

- 4 給油します。

使用燃料 …………… ディーゼル燃料（軽油）

- 5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップを「カチッ」と音がするまで時計方向に回します。

- 6 フューエルリッドを閉めます。

給油に関する注意：

給油する際、燃料の種類に注意してください。  
燃料を間違えて給油してしまった場合は、走行せずに直ちにフォル  
クスワーゲン正規販売店へ連絡してください。

### アドバイス

ディーゼル燃料は外気温が低くなると凍結し、エンジ  
ンの故障につながる恐れがあります。  
ディーゼル燃料は、その地域の気温に適した燃料が存在  
しますので、寒冷地へ移動したときは、到着後できるだ  
け早く寒冷地用の燃料を補給してください。

## AdBlue®

TDI 車両は、一定の走行距離を目安に AdBlue® (尿素水溶液) の補充が必要となります。

AdBlue® の走行可能距離は、コンビネーションメーターで必ず確認してください。

「走行データ」 → 「AdBlue の走行可能距離」

AdBlue® が無くなると、車両の走行ができなくなります。

AdBlue® の残量が低下すると警告音とともにコンビネーションメーターに警告表示されます。

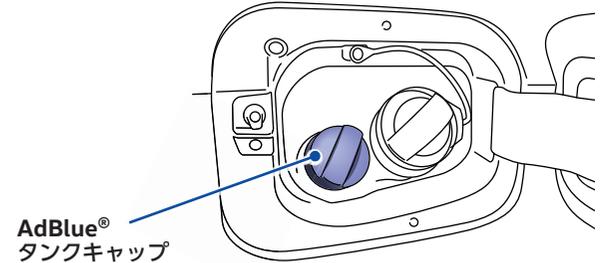
警告表示	意味
	AdBlue® の残量が低下 (AdBlue® 残量による走行可能距離が、2,400km 以下) 早めの AdBlue® を補充することをお勧めします。
	AdBlue® の残量がさらに低下 コンビネーションメーターに表示された AdBlue® の走行可能距離以内に必ず補充してください。
	AdBlue® の残量がゼロ 一度エンジンを切ると、再始動することができません。 エンジンを再始動するためには、AdBlue® を補充してください。

### アドバイス

AdBlue® 残量による走行可能距離が 1,000km になる前に十分な量の AdBlue® を補充してください。

## AdBlue® の補充

AdBlue® は、キャップ (青色) を開いて補充します。



MT0017

## ディーゼルパーティキュレートフィルター (DPF)

ディーゼルパーティキュレートフィルター (DPF) は排ガス中の PM (微粒子物質) を処理します。

DPF で吸着された PM はエンジン制御により定期的に除去されます。

ただし、街乗りなど短距離走行のみの走行の場合、DPF の掃除が完了せず、PM が徐々に堆積しコンビネーションメーターに以下の警告灯が点灯されます。

警告表示	意味
	DPF に PM が堆積しています。 法定速度を遵守し、一定時間走行しエンジン制御による DPF の掃除をサポートしてください。DPF の掃除が完了すると警告灯は消灯します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

# 便利な機能

## 運転支援

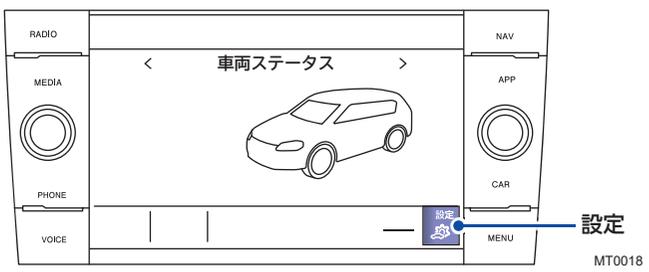
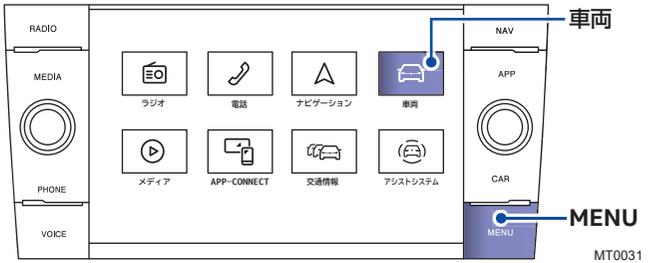
### インフォテイメントシステム

#### 車両設定

タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

#### 操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。



車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESCシステム	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- トラクションコントロールシステム (ASR)</li> </ul> </li> </ul>
タイヤ	タイヤ空気圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイヤモニタリングシステムのリセット操作ができます。</li> </ul>
	ウインタータイヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。</li> </ul>
ライト	ライトアシストシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- オートライトシステム (雨天時)</li> <li>- 車線変更点滅機能</li> </ul> </li> <li>以下の機能を設定することができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- オートライトシステムの始動時間</li> <li>- トラベルモード (右側 / 左側通行)</li> </ul> </li> </ul>
	ルームランプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の機能を設定することができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- メーター / スイッチの明るさ</li> <li>- ドア内アンビエントライト</li> <li>- フットウェルランプ</li> </ul> </li> </ul>
	[カミングホーム / リービングホーム]機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の機能を設定することができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- カミングホーム機能の作動時間</li> <li>- リービングホーム機能の作動時間</li> </ul> </li> </ul>
駐車支援	パークディスタンスコントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>パークディスタンスコントロールの自動作動の ON・OFF を切り替えることができます。</li> <li>以下の機能を設定することができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- フロント / リヤの音量</li> <li>- フロント / リヤのトーンレベル</li> <li>- パークディスタンスコントロール作動時のインフォテイメントシステムの音量</li> </ul> </li> </ul>
	マヌーバーブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> <li>マヌーバーブレーキ機能の ON・OFF を切り替えることができます。</li> </ul>
	リヤトラフィックアラート	<ul style="list-style-type: none"> <li>リヤトラフィックアラートの ON・OFF を切り替えることができます。</li> </ul>



## ドライビングプロフィール

### ドライビングプロフィールとは

各モードごとにエンジンやトランスミッションなどの設定を最適化することで、走行状況などに応じてドライバーのお好みの運転特性を選択することができます。

### ドライビングプロフィールの切り替えかた

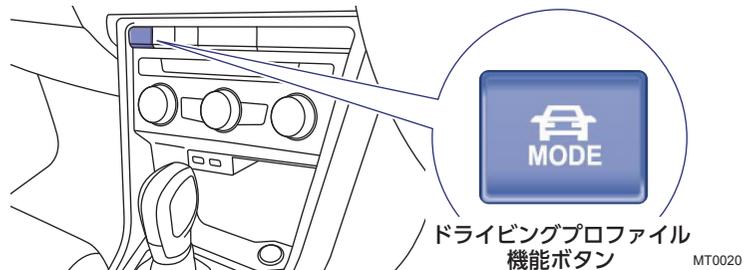
ドライビングプロフィール機能ボタンを押すごとに、ドライビングプロフィールが切り替わります。

インフォテイメントシステムのディスプレイに選択中のドライビングプロフィールが表示されます。

以下の5つのドライビングプロフィールが選択できます。

選択できるドライビングプロフィールの種類は車種により異なります。

- コンフォート  
(アダプティブシャシーコントロール (DCC) 付車)
- ノーマル
- スポーツまたはレース
- エコ
- カスタム



### コンフォート (アダプティブシャシーコントロール (DCC) 付車)

乗り心地を重視した特性になります。おもに路面状況が荒れているときや、高速道路を長時間走行するときなどに選択します。

### ノーマル

標準的な特性になるため、通常走行時に選択します。

### スポーツまたはレース

走行性能を重視した特性になるため、スポーツ走行などをするときを選択します。

### エコ

燃費を重視した特性になるため、低燃費運転をしたいときに選択します。

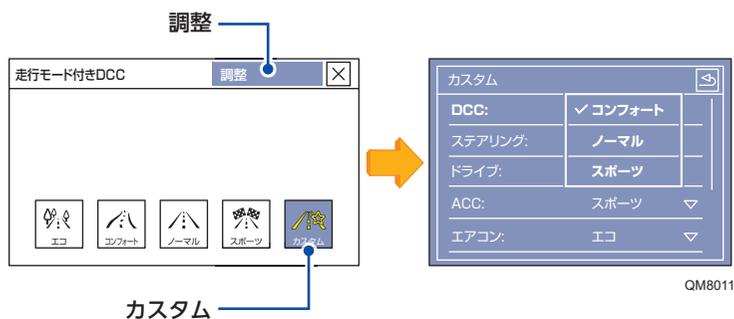
### カスタム

各システムをお好みの特性に設定することができます。

## ドライビングプロファイル「カスタム」の設定のしかた

### 操作手順

- 1 ドライビングプロファイル機能ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「カスタム」を選択します。
- 3 「調整」を選択します。
- 4 システムごとの特性を選択します。



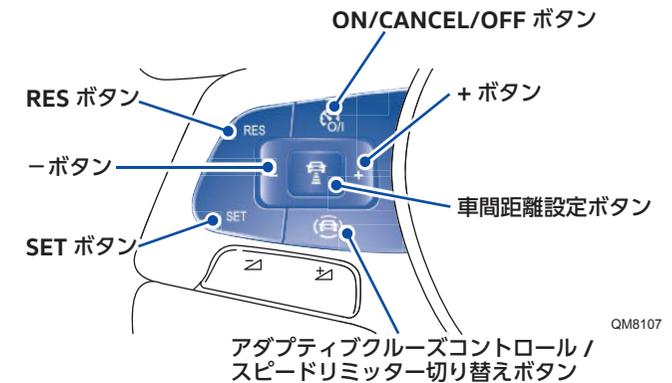
### アドバイス

運転状態、空調の要否によって適切なドライビングプロファイルを選択してください。

## アダプティブクルーズコントロールシステム “ACC”

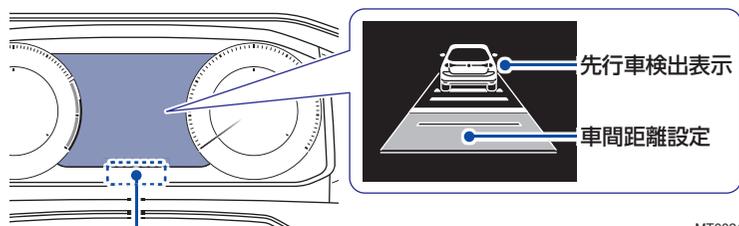
レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。

アダプティブクルーズコントロールシステムは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイに作動状態が表示されます。

先行車検出表示・・・先行車を検出しているときに表示します。  
車間距離設定・・・現在の車間距離設定を表示します。



他の機能を表示している際の表示位置

MT0021

他の機能（ナビゲーションシステム等）を表示させている場合は、ディスプレイ中央下部に小さく表示されます。

### アドバイス

- ・車間距離設定は、ハイライトの範囲が狭いほど短く、広いほど長くなります。

### 操作手順

- 1 ON/CANCEL/OFF ボタン  を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。
- 2 設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。
- 3 車間距離設定ボタン  を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

### 設定車速の換えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。  
+ ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。  
- ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

### 車間距離設定の換えかた

車間距離設定ボタン  を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

### システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン  を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

### システムの停止のしかた

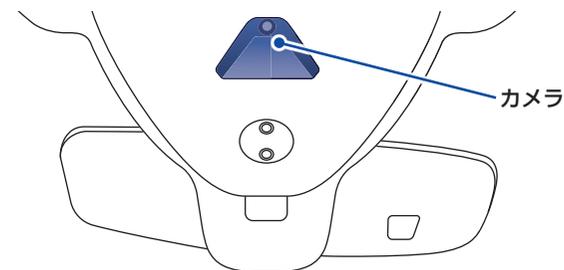
以下の方法で、システムを停止することができます。このとき、設定車速も消去されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン  を長押しします。
- システムを一時的に OFF にしているときは、ON/CANCEL/OFF ボタン  を短く押します。

## レーンキープアシストシステム “Lane Assist”

フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。

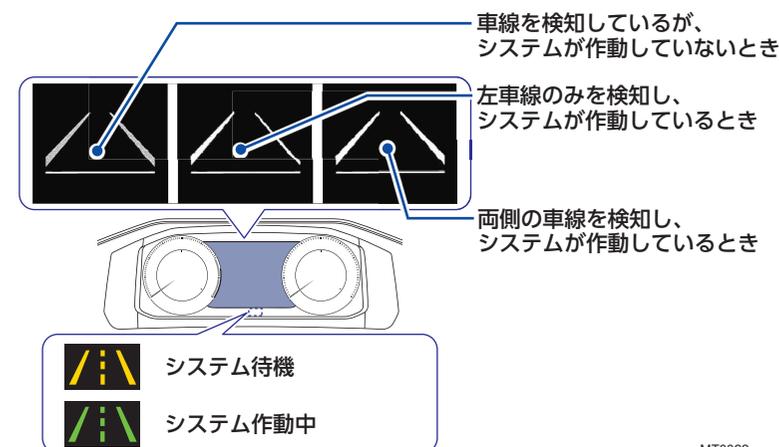
約 65km/h 以上で走行中に作動します。



MT0029

コンビネーションメーターのディスプレイおよび表示灯で Lane Assist（レーンキープアシストシステム）の作動状態が表示されます。

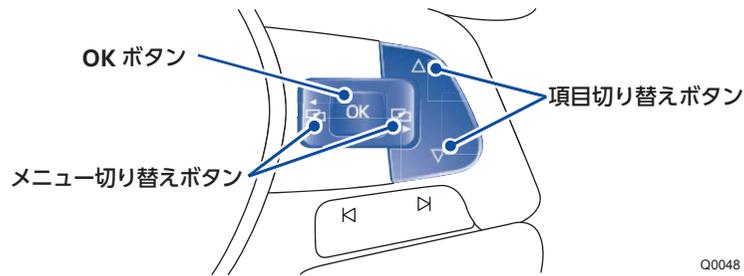
- 線の色が薄い : 車線を検知していないとき
- 線が細く色が濃い: 車線を検知しているが、システムが作動していないとき
- 線が太く色が濃い: 車線を検知し、システムが作動しているとき



MT0022

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

## レーンキープアシスト “Lane Assist” の機能停止のしかた



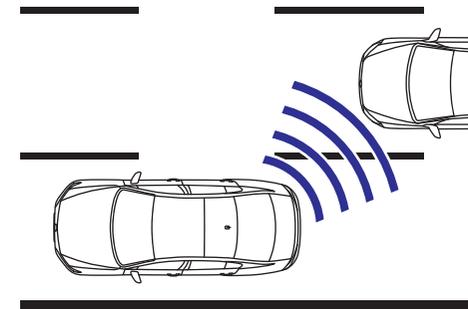
### 操作手順

- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタンを操作して、「アシストシステム」を選択します。
- 2 項目切り替えボタンを操作して「Lane Assist」を選択し、OK ボタンを押してチェックボックス  を外します。

コンビネーションメーターの表示灯が消灯し、Lane Assist（レーンキープアシストシステム）を OFF にすることができます。

## ブラインドスポットディテクション (後方死角検知機能)

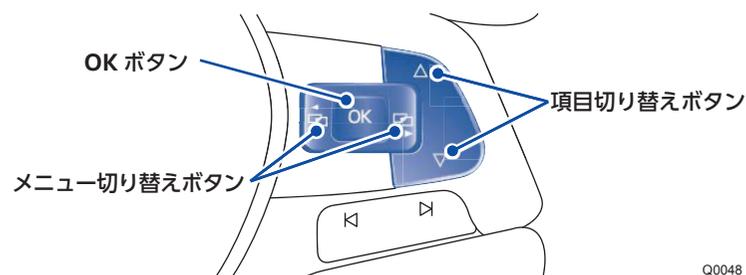
ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）は、リアバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内の警告灯が点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させると警告灯が点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。この機能は、15km/h 以上で作動します。



QM3038

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

## ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）の機能停止のしかた



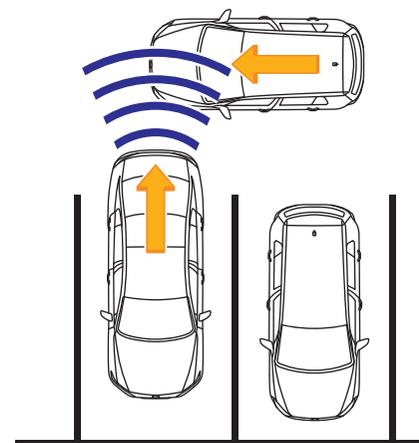
Q0048

### 操作手順

- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタンを操作して、「アシストシステム」を選択します。
- 2 項目切り替えボタンを操作して「ブラインドスポットディテクション」を選択し、OK ボタンを押してチェックボックス  を外します。

## リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)

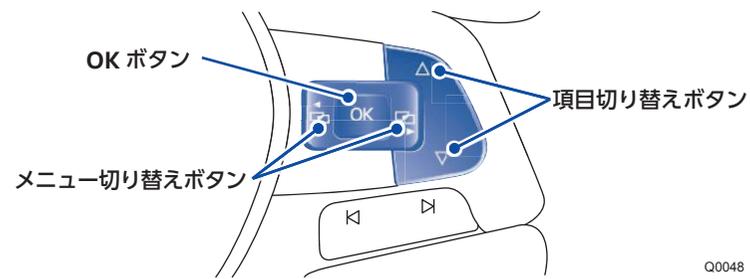
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）は、リアバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



QM3039

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の機能停止のしかた



操作手順

- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタンを操作して、「アシストシステム」を選択します。
- 2 項目切り替えボタンを操作して「リヤトラフィックアラート」を選択し、OK ボタンを押してチェックボックス  を外します。

**プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist”（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付）**

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。  
 レーダーセンサーで先行車や歩行者を検知し、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。  
 警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。

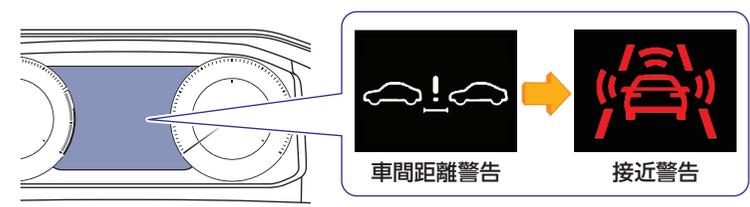
**シティエマージェンシーブレーキ機能**

30km/h 未満での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

**歩行者検知システム**

65km/h 未満での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

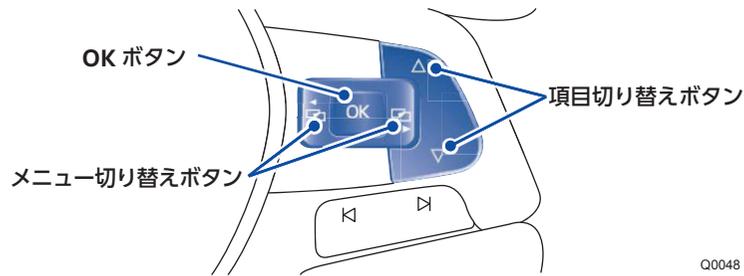
コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。



MT0024

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

## プリクラッシュブレーキシステム「Front Assist」の機能停止のしかた



### 操作手順

- 1 マルチファンクションステアリングホイール右側のメニュー切り替えボタンを操作して、「アシストシステム」を選択します。
- 2 項目切り替えボタンを操作して「Front Assist」を選択し、OK ボタンを押してチェックボックス  を外します。

## ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。ESC (エレクトロニックスタビリティコントロール) には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS (アンチロックブレーキングシステム)  
ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS (ブレーキアシストシステム)  
ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR (トラクションコントロールシステム)  
発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- EDS および XDS (エレクトロニックディファレンシャルロックシステム)  
直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。  
高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

## ESC/ASR の機能の切り替え

### インフォテイメントシステムによる切り替え

#### 操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ESC システム」で ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

## プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

急制動や極端なオーバーステア/アンダーステアによって発生する事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めめます。

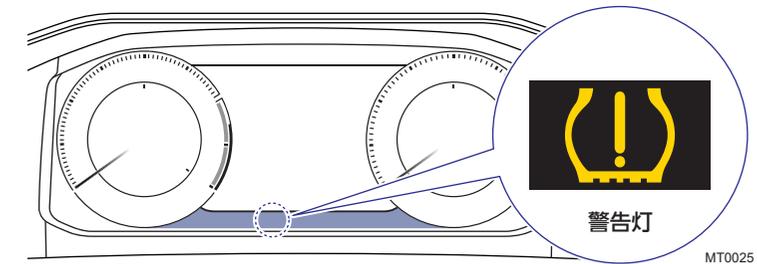
同時にウインドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

## タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4 輪のタイヤ空気圧を点検してください。



### タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

#### 操作 手順

- ① ディスプレイの「MENU」を選択します。
- ② ディスプレイの「車両」を選択します。
- ③ ディスプレイの「設定」を選択します。
- ④ 「タイヤ」の“タイヤ空気圧警告灯”で「SET」を押します。

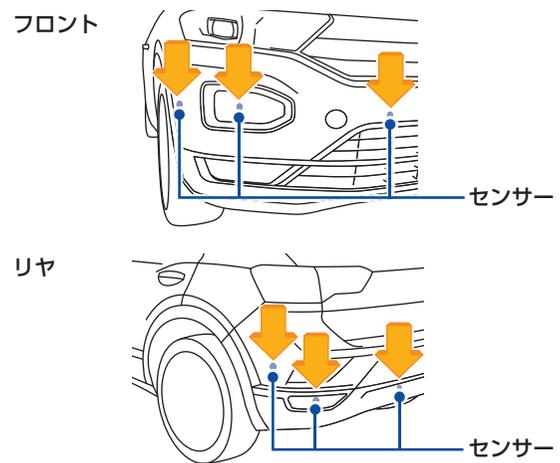
現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

## パークディスタンスコントロール

フロントバンパーおよびリアバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。

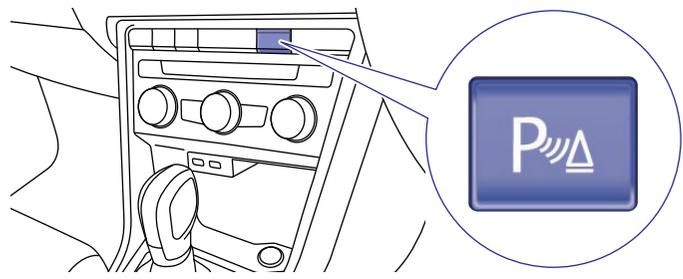
前進時および後退時に障害物に近づいて衝突の恐れがある場合、自動的にブレーキを作動させ衝突の回避または衝突の被害を軽減させます。



以下のときに作動します。

- セレクターレバーを“R”にしたとき
- 車両が後退したとき
- 車両前方にある障害物に、低速で接近しているとき

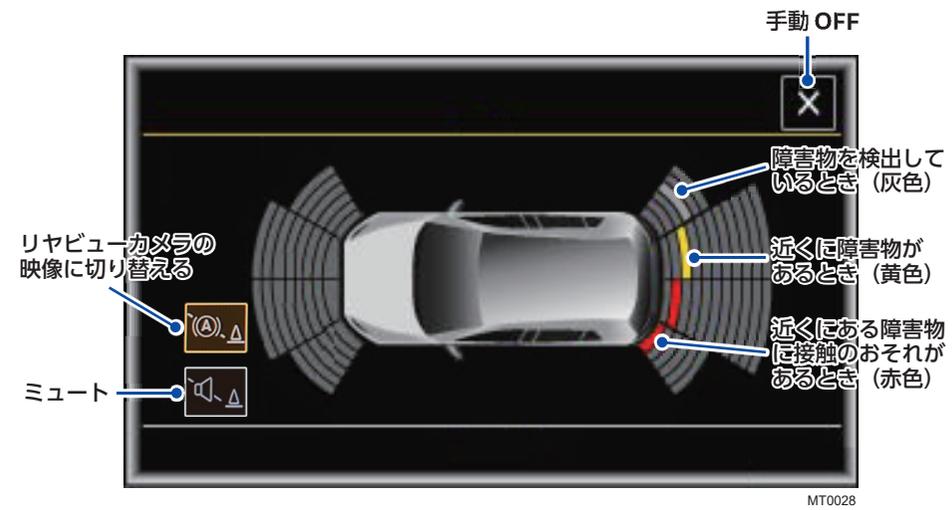
また、センターコンソール上部のボタンを押すと、手動で作動 / 非作動を切り替えることができます。



MT0027

障害物に近づくとピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。

さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



MT0028

### パークディスタンスコントロールの設定のしかた

#### 操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「駐車支援」の“パークディスタンスコントロール”で、パークディスタンスコントロールの自動 ON の設定や警告音の音量の調整などができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

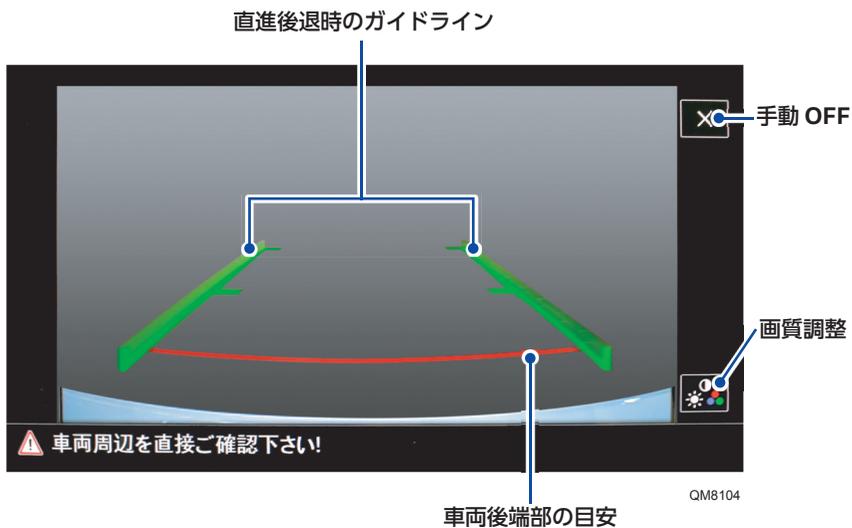
## リヤビューカメラ “Rear Assist”

後退時、インフォテインメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。

カメラはテールゲートのエンブレム内部に格納されています。

セレクトアーレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。

セレクトアーレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲングループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲングループ ジャパン 株式会社に帰属します。本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan



本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

